

チーム2020

フットボール専用スタジアム

問 茂里町にフットボール専用スタジアムの建設を求める署名の提出を受け、その必要性の見解と、隣接する三菱幸町工場跡地の活用案の一つとしてスタジアムを検討してほしいがどうか。

答 昨年提出された署名については、重く受け止めている。しかしながら、フットボール専用スタジアムは、試合やイベントが週末に集中することから、年間の管理経費に比べ収益性が低いと言われているため、その建設については慎重な判断が必要と考えている。

なお、建設要望地である茂里町の中部下水処理場跡地は市中心部にあり、まちづくりに重要な用地であるため、多方面から検討した上で活用策を見いだしたいと考えている。また、幸町工場跡地の活用についても、関係者による検討会の場において、将来のまちづくりに貢献する土地利用となるよう積極的に意見を述べていきたい。



▲茂里町にある中部下水処理場

市庁舎と公会堂の建て替え

問 県庁舎跡地に市庁舎建設を求める署名活動が始まろうとする中、改めて市庁舎及び公会堂の建て替えについて市の見解を伺いたい。

答 新市庁舎については、平成23年2月に現在の市庁舎がある場所から公会堂を含む一帯とすることを方針として決定した後、市民懇話会や市議会の特別委員会で時間をかけて議論を積み重ね、平成25年1月に建て替え場所を公会堂及び公会堂前公園敷地と決定した。また、公会堂については廃止して、新たな文化施設を整備することとしている。これらの方針については、様々な議論を経て決定しており、変更する考えはない。

なお、新たな文化施設の建設場所については、県庁舎跡地活用に係る県の検討状況を見極めながら、市としての判断を平成27年度内までに行いたい。



▲閉館した公会堂の場所に新市庁舎の建設を予定

(個人質問)

明政クラブ

子ども食堂に対する公的取り組み

問 家庭の事情で十分に食事が取れない子どもたちに、無償や安価で食事を提供する「子ども食堂」が、市民の力で行われているが、公的な援助を行う考えはないのか。

答 本市においては、医療費の助成、修学資金等の貸付、就労に向けた資格取得のための給付金の支給などのひとり親家庭への支援、経済的な理由により就学困難と認められる児童や生徒の保護者に対し必要な援助を行う就学援助、生活保護世帯等の子どもを対象にした学習支援など、さまざまな視点から支援に取り組んでいる。

子どもの貧困対策については、重要な課題であると認識しており、子ども食堂を含め、どのような事業の充実が必要であるのか、国や県の動向を踏まえて検討していきたい。



生活保護受給世帯等の子どもへの学習支援

問 生活保護受給世帯の子どもが大人になって、再び生活保護を受給するといった貧困の連鎖を防止するため、平成26年度に事業化されたが、現状と今後の拡充について伺いたい。

答 学習支援事業では、中学生を対象として、学習会を開催している。平成26年度の実績では、対象とした生活保護受給世帯の中学3年生49名のうち、48名が高校進学、1名が就職し、アンケートでは好意的な意見が寄せられている。

また、平成27年度は、生活困窮世帯も含めた中学2・3年生に拡大し取り組んでいる。

本市としては、参加者の自立の実現に、極めて効果的な支援であり、早期に支援するほど効果が高くなることを考えているため、平成28年度は対象者を中学全学年へ拡大して実施したい。

